
翻訳の前書き

ズッカーマンクラヴィコードへようこそ！この翻訳は、ズッカーマン社の「クラヴィコード .2」というモデル（組み立てキット）のためにエド・コティック博士が書かれた英文を訳したものです。訳者は翻訳の専門家ではありませんし、残念ながらクラヴィコードの演奏家でも製作者でもありません。（英語やクラヴィコードに堪能な方は、ぜひ元の英文マニュアルを参照されることをお勧めします。）それでもあえて翻訳に踏み切ったのは、この素敵な楽器を作りたい、演奏したいという皆さんが必ずしも英語を得意なわけではないでしょうし、少しでもチャレンジされる方の可能性を拡げたいと思ったからです。おかしな日本語や、間違った翻訳があるかもしれませんが、気が付かれた方はご一報いただければ幸いです。翻訳に当たってはハーブシコード演奏家である八百板正己さん、ハーブシコード製作者の久保田彰さん、ハーブシコード技術者である中山真さんの校正、ご指導に大変お世話になりました。謹んでお礼申し上げます。誤訳珍訳等ありましたら文責はすべて訳者にあります。

また翻訳にあたって専門用語や特殊な用語をどう訳すか迷いました。訳文としてはわずらわしいかもしれませんが、専門用語はなるべくもとの英語を併記しました。また自作・DIY というのは日本と欧米とではずいぶんなじみかたに差があるように思います。住宅事情や生活環境の違いが大きいかと思いますが、日本の、それも都市部で大きな工作テーブルを確保してそこに何週間も何ヶ月も作りかけのクラヴィコードを置いておくというのはなかなか難しいですね。そういったことも含めて、訳者がコメントしたい場所には訳注を括弧に入れて挿入しました。不要な方はどうぞとばしてお読みください。

このクラヴィコード .2 キットはズッカーマン社の組み立てキットの中では一番とっつきやすいものの、とのこと。とは言えプラモデルとは違います。木工の基本的な作業スキル（またはそれを身につけようというお気持ち）と、一通りの工作用具は必要でしょう。特にしっかりした作業台は必

須になります。日曜大工のお店などで折畳み式の物も売っているようですので、作業のたびに出し入れするのをいとわない方はそれでもいいかと思います。もちろん食卓のテーブルでもいいのですが、工程の中で作業台にクランプどめしたり、直接釘を打ちつけたり、という場面もでできます。できれば傷がついてもかまわない台をご用意されたほうがいいでしょう。ふだん木工工作を趣味としていらっしゃる方の場合には意外と難しい作業もあるかと思いますが（ズッカーマン社のオーバー社長は「そんなことは無い。やってみたら簡単なんだ」とは言いますが）、また製作の時間はなるべく短くして、早く完成した楽器を演奏したいと言う方もいらっしゃると思います。そういう方のために、ズッカーマン社では半完成キットや完成品もご用意しています。お値段のこともあります。ご自分のスキル（+ 忍耐力？）時間、ご予算をよくお考えになって最も適したレベルのキットをお選びになることをお勧めいたします。（このマニュアルはすでにキットをお買い求めいただいた後にお読みですか？その場合は否応無しに最大の楽しみに向けて挑戦していただけますね。）自作というのは費やした時間に比例して完成したときの満足度が高まるともいわれます。皆様が自分だけの一台を無事完成してこの素敵な楽器を日々にお楽しみいただけますように。

2006年1月 訳者： 野村 成人